



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年12月14日

上場会社名 OSJBホールディングス株式会社
 コード番号 5912 URL <http://www.osjb.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画担当
 四半期報告書提出予定日 平成29年12月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 大野 達也
 (氏名) 橋本 幸彦
 TEL 03-6220-0601

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	23,997	3.9	1,373	31.0	1,370	29.2	821	△1.0
29年3月期第2四半期	23,101	3.1	1,047	△38.6	1,060	△38.1	830	△46.9

(注)包括利益 30年3月期第2四半期 1,049百万円 (14.0%) 29年3月期第2四半期 921百万円 (△40.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	6.87	—
29年3月期第2四半期	6.92	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載をしております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	41,896	24,030	57.4	201.01
29年3月期	42,597	23,739	55.7	198.34

(参考)自己資本 30年3月期第2四半期 24,030百万円 29年3月期 23,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	50,000	△2.6	3,000	0.6	3,000	△1.4	2,100	△21.1	17.52

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期2Q	122,513,391 株	29年3月期	122,513,391 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

30年3月期2Q	2,967,035 株	29年3月期	2,819,271 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期2Q	119,584,738 株	29年3月期2Q	120,048,844 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、海外経済の緩やかな成長が続いているもとの、輸出、生産は持ち直しております。企業収益が改善しているなか、設備投資は緩やかな増加基調にあります。個人消費は、雇用情勢の改善、所得環境の着実な改善を背景に底堅い動きとなっており、景気は緩やかな回復基調が続いております。

公共投資につきましては、国の平成29年度当初予算で、一般会計予算において公共事業関係費は前年度当初予算を上回っており、地方財政計画では投資的経費のうち地方単独事業費について前年を上回る状況にあります。公共工事請負金額は高水準で推移しており、公共投資は堅調に推移しております。

このような状況におきまして、当社グループ全体で受注活動に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の受注高は、257億8千8百万円（前年同四半期比32.8%減）となりました。前年同四半期累計期間に建設事業において大型物件の受注獲得があり、前年同四半期比は減少となっておりますが、第2四半期連結累計期間の実績としては例年の水準を確保しております。

当第2四半期連結会計期間の主要な受注は、以下のとおりであります。

(建設事業)

- ・ニューマチックケーソン工事 岩手県「一般国道397号（仮称）新小谷木橋下部工（その4）工事」
- ・コンクリートの新設橋梁工事 埼玉県「総A除）東京都とのスクラム強化推進（改築）工事（上部工）」
- ・橋梁の補修補強工事 西日本高速道路株式会社
「中国自動車道（特定更新等）北房IC～大佐スマートIC間（上り線）土木更新工事」

(鋼構造物事業)

- ・鋼構造の新設橋梁工事 国土交通省中部地方整備局「平成29年度 東海環状大木高架橋鋼上部工事」

売上につきましては、大きな工程の遅れもなく進捗が順調に推移したことにより、売上高は239億9千7百万円（前年同四半期比3.9%増）となりました。また、受注残高につきましては、上記の受注および売上の状況により、547億3千5百万円（前年同四半期比1.2%減）となりました。

損益面では、売上総利益は32億5千5百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は13億7千3百万円（前年同四半期比31.0%増）、経常利益は13億7千万円（前年同四半期比29.2%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8億2千1百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 建設事業

当セグメントの売上高は216億9千万円（前年同四半期比10.9%増）、セグメント利益（営業利益）は15億4千7百万円（前年同四半期比26.0%増）となりました。

② 鋼構造物事業

当セグメントの売上高は22億5千8百万円（前年同四半期比35.5%減）、セグメント損失（営業損失）は7千9百万円（前年同四半期はセグメント損失（営業損失）6千1百万円）となりました。

③ その他

太陽光発電による売電事業により、売上高は4千8百万円（前年同四半期比2.4%増）、セグメント利益（営業利益）は2千2百万円（前年同四半期比37.5%増）となりました。

④ 不正行為による損益への影響

この度、当社の連結子会社であるオリエンタル白石株式会社の複数事業所の従業員が、複数年に亘り外注先と共謀して外注費の水増し請求を行わせ、キックバックを通じて、従業員の飲食費として費消する等の不正行為が判明しました。

この不正行為の金額は3億3千1百万円であり、売上原価への計上額等は、すでに前連結会計年度の利益剰余金及び当第2四半期連結累計期間の損益に反映されており、当社では過年度連結財務諸表に与える影響は軽微と判断し、遡及修正を行わないこととしました。

なお、上記の不正行為による売上原価への計上額等のうち、税務上損金として認識されない金額2億1千9百万円に係る税金費用については、当第2四半期連結累計期間において過年度法人税等1億3千6百万円として計上しております。

また、当第2四半期連結累計期間における不正行為については、それぞれ適切な科目にて計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は418億9千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1.6%減少し、319億2千1百万円となりました。これは、現金及び預金が18億5千6百万円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金が19億3千7百万円、繰延税金資産（流動）が2億7千6百万円減少したことなどによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ1.7%減少し、99億7千5百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ5.7%減少し、128億8千9百万円となりました。これは、未成工事受入金が7億4千8百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金が13億2千万円、未払金が6億9千5百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ4.0%減少し、49億7千6百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1.2%増加し、240億3千万円となり、自己資本比率は57.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表いたしました「平成29年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の業績予想数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,243	11,099
受取手形・完成工事未収入金	20,484	18,547
未成工事支出金	179	307
材料貯蔵品	133	170
繰延税金資産	789	512
立替金	941	867
その他	702	419
貸倒引当金	△22	△3
流動資産合計	32,452	31,921
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	634	608
機械及び装置（純額）	2,581	2,406
土地	4,225	4,041
建設仮勘定	86	114
その他（純額）	101	99
有形固定資産合計	7,630	7,270
無形固定資産		
その他	251	240
無形固定資産合計	251	240
投資その他の資産		
投資有価証券	1,428	1,559
破産更生債権等	640	640
繰延税金資産	630	703
その他	253	250
貸倒引当金	△689	△688
投資その他の資産合計	2,262	2,464
固定資産合計	10,144	9,975
資産合計	42,597	41,896

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	7,784	6,463
1年内償還予定の社債	100	100
1年内返済予定の長期借入金	285	285
未払金	1,792	1,096
未払法人税等	553	295
未成工事受入金	1,486	2,234
預り金	642	1,331
工事損失引当金	218	328
完成工事補償引当金	235	158
工場再編損失引当金	159	159
その他	417	435
流動負債合計	13,675	12,889
固定負債		
社債	150	100
長期借入金	1,643	1,500
退職給付に係る負債	3,387	3,375
その他	2	1
固定負債合計	5,182	4,976
負債合計	18,857	17,866
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	453	453
利益剰余金	23,184	23,288
自己株式	△615	△656
株主資本合計	24,023	24,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	169	242
退職給付に係る調整累計額	△452	△297
その他の包括利益累計額合計	△283	△55
純資産合計	23,739	24,030
負債純資産合計	42,597	41,896

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高		
完成工事高	23,101	23,997
売上原価		
完成工事原価	20,121	20,742
売上総利益		
完成工事総利益	2,980	3,255
販売費及び一般管理費	1,932	1,882
営業利益	1,047	1,373
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	8
特許権使用料	14	4
受取保険料	28	-
その他	20	30
営業外収益合計	72	43
営業外費用		
支払利息	0	6
前受金保証料	17	17
支払手数料	8	19
設備復旧費用	28	-
その他	4	2
営業外費用合計	59	45
経常利益	1,060	1,370
特別利益		
固定資産売却益	20	165
特別利益合計	20	165
特別損失		
工場再編損失	-	36
特別損失合計	-	36
税金等調整前四半期純利益	1,080	1,500
法人税、住民税及び事業税	351	246
過年度法人税等	△96	136
法人税等調整額	△4	295
法人税等合計	250	678
四半期純利益	830	821
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	830	821

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	830	821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	63	72
退職給付に係る調整額	27	155
その他の包括利益合計	90	227
四半期包括利益	921	1,049
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	921	1,049
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年6月29日 定時株主総会	普通株式	726	6.00	平成28年3月31日	平成28年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年6月28日 定時株主総会	普通株式	718	6.00	平成29年3月31日	平成29年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	19,555	3,498	23,054	47	23,101	—	23,101
セグメント間の内部売上高 又は振替高	48	11	60	—	60	△60	—
計	19,603	3,510	23,114	47	23,161	△60	23,101
セグメント利益又は損失(△)	1,228	△61	1,166	16	1,182	△134	1,047

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△134百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)及び連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)3	計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設事業	鋼構造物 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	21,690	2,258	23,948	48	23,997	—	23,997
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	52	55	—	55	△55	—
計	21,693	2,310	24,004	48	24,052	△55	23,997
セグメント利益又は損失(△)	1,547	△79	1,467	22	1,489	△116	1,373

(注)1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△116百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各セグメントに配賦していない全社費用△133百万円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費、当社(OSJBホールディングス株)及び連結子会社(株白石ホームズ)における発生費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業であります。

3. 補足情報

(1) 受注高、売上高及び受注残高の状況

I 受注高

区 分	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	36,988	20,953	△16,035	△43.4	58,988
鋼構造物事業	1,356	4,786	3,429	252.8	5,068
その他	47	48	1	2.4	76
合 計	38,392	25,788	△12,604	△32.8	64,133

II 売上高

区 分	前第2四半期 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	19,555	21,690	2,134	10.9	44,007
鋼構造物事業	3,498	2,258	△1,240	△35.5	7,230
その他	47	48	1	2.4	76
合 計	23,101	23,997	895	3.9	51,314

III 受注残高

区 分	前第2四半期 (平成28年9月30日)	当第2四半期 (平成29年9月30日)	増 減		前連結会計年度 (平成29年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
建設事業	52,012	48,823	△3,188	△6.1	49,559
鋼構造物事業	3,404	5,912	2,507	73.7	3,384
その他	—	—	—	—	—
合 計	55,416	54,735	△681	△1.2	52,944